

こんにちは 森林官です!

前上川中部森林管理署
美瑛森林事務所
首席森林官
(美瑛・朗根内担当区)
菅野 聖志



基幹産業は畑作を中心とした農業ですが、『丘のまち「びえい」』として全国的に知られ、美しい花や耕作地と自然が織りなす壮大な景色等を楽しむため、年間100万人を超す観光客が訪れています。近年は、枯れ木々が青色の水辺の上にそびえ



青い池

◇ ◇ ◇
美瑛森林事務所が所在する上川郡美瑛町は北海道のほぼ中央にあり、上川盆地と富良野盆地の間の丘陵地帯で、白雲岳、トムラウシ山、美瑛岳、十勝岳など、000m級の山々に囲まれた町です。



望岳台からの「十勝岳」

立ち、幻想的な風景を作り出している「青い池」も人気スポットとなっています。また、美瑛町と上富良野町にまたがる十勝岳は、過去150年の間に5回の噴火(30〜40年の周期)があり、とりわけ大正15年には、噴火による融雪型泥石流により死者・行方不明者144名を出す大災害が発生しています。国、道、町などの関係機関により様々な防災対策が行われており、当署ではこれまでに約150基の治山施設を施工しています。

◇ ◇ ◇
美瑛森林事務所は、美瑛町内の白金地区と朗根内地区の国有林約2万600haを管理しており、部内には白金自然休養林や十勝岳などがあります。現在4名の職員で、国民の財産である国有林野を適切に管理するための現場巡視・境界管理、豊かで多様な森林に育てるための間伐等の森林整備事業、森林の現況を知るための各種調査、地元山岳会等と連携した登山歩道等の整備、小学生等への森林教室、地域活動への参加等を行っています。また、緩やかな傾斜など北海道の特性を活かし、路網を高密度に整備し集材距離を短縮するとともに、伐倒・枝払い・玉切を一台で行うハーベスタ等を活用することで高効率・低コストの作業システム的确立を目指す「北海道型作業システムモデル施設(147ha)」が設定され、民有林関係者も参加する現地研修会の場

としても利用しています。昨年度は、同施設地において、ハーベスタ等を活用して間伐を行い、間伐した木を丸太にする製品生産事業を行い、事業監督とともに、森林技術・支援センター等とともに、機能調査を行いました。最大で20m³/人日と高い生産性でした。



ハーベスタによる伐倒

◇ ◇ ◇
最後に、日々、業務に東奔西走していますが、地元の皆様方のご理解やご支援をいただきながら、豊かな森林を後世まで引き継ぐため、現場の最前線で努力したいと考えております。